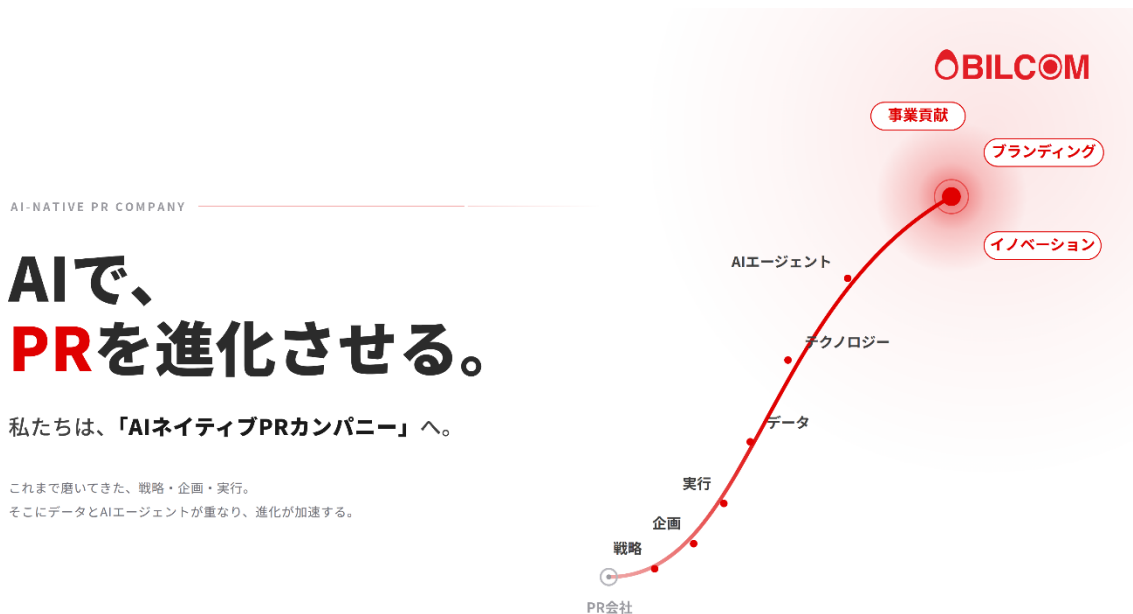


報道関係者各位

2026年7月2日
ビルコム株式会社

ビルコム、「AIネイティブPRカンパニー」への経営変革を始動 23年のPRノウハウと独自データを基盤としたAIエージェントを全社導入 ～AIの専門家3社と協業し、全事業のAIネイティブ化を加速～

ビルコム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役兼 CEO：太田 滋）は、2026年7月より、全社方針「AIネイティブPRカンパニー」に基づく経営変革を始動します。創業以来23年で蓄積したPRノウハウと、媒体・時流・分析の独自データを基盤としたAIエージェント36体を全社導入。実務はAIが担い、人は関係構築や意思決定に集中します。合わせて、統合型PRコンサルティング・PR Analyzer・メディアデータオンラインの3事業すべてにおいてAI実装を進め、お客様の提供価値を進化させます。



特設サイト：<https://www.bil.jp/lp/ai-native>

■「AIネイティブ」とは何か——ツール導入ではなく、会社全体の設計変更

ビルコムが考えるAIネイティブとは、単に生成AIを導入することではありません。提供するソリューション、業務プロセス、組織文化や制度、AIエージェントの運用・評価、情報管理やセキュリティまで——会社のすべてを、AIを前提につくり変えることです。

今後、① AIエージェントに任せる／② AIエージェントと人が協業する／③ 人にしかできない仕事に集中する、の3つに区分して業務設計をおこないます。

■「AI ネイティブ」を加速する 4 つの取り組み

1) 全社に AI エージェントを導入し、業務プロセスを改革

当社では、全事業・全部門に、専門領域ごとの AI エージェント 36 体を配属し、協業を開始します。創業から 23 年の PR ノウハウと媒体・時流・分析といった独自データを連携し、サービス品質と提供スピードを向上させていきます。

AI エージェントの組織図
(イメージ)



2) ソリューションの AX 化 (AI Transformation) *

ビルコムが展開する 3 つの事業・サービスそのものを AI で進化させます。統合型 PR コンサルティング事業では「広報 AX コンサルティング」を開始し、お客様の広報現場での AI エージェント活用を支援します。PRAnalyzer 事業では「競合 AI 分析コンサルティング」を開始し、競合露出分析レポートを作成のうえ、ディスカッションを通じた広報戦略への助言を行います。さらに、メディアデータ事業 (メディアデータオンライン) では、AI によって媒体データを「検索する」から「提案される」データベースへと進化します。

*AX (AI Transformation) とは、AI を企業の業務プロセスやビジネスモデルそのものに組み込み、組織を根本から変革する取り組みを指します。

▽新サービスの概要

サービス名	広報 AX コンサルティング
開始時期	2026 年 7 月
対象顧客	事業会社の広報部、広告宣伝部、マーケティング部
サービス内容	ビルコム社内で実践する AI エージェント活用を、お客様の業務・ルール・カルチャーに合わせて OEM 提供 ①初期診断：業務を分解し、AI エージェントの効きどころを設計 ②OEM 実装：お客様専用 AI エージェントを構築・実装 ③実装・伴走顧問：運用に並走し、継続的にアップデート
価格 (税別)	診断 120 万円～

サービス名	競合 AI 分析コンサルティング
開始時期	2026 年 7 月
対象顧客	PR Analyzer ご契約中のお客様
サービス内容	PR Analyzer の競合データをもとに、毎月コンサルタントがレポート作成とディスカッションを提供 ①競合露出分析レポート：媒体・論調・露出量を可視化 ②戦略示唆フィードバック：競合との差分を示唆に変換 ③打ち手ディスカッション：月 1 回、翌月の打ち手を具体化
価格（税別）	月額 30 万円～

3) AI を使うほど得をする、好循環の人事制度

AI の活用を社内で広げるために「使うほど得をする」好循環の人事制度を導入します。活躍・支援・報酬・楽しさの 4 つをテーマに、AI アンバサダーの設置や AI で生み出した成果物を評価する表彰制度など複数の施策を開始します。AI の利用時間（消費）ではなく、それによって生まれた成果（創出）で評価し、AI 活用を組織の当たり前にします。

4) AI エージェントを評価し、維持・進化させるオペレーション

36 体の AI エージェントを「資産」として維持・進化させる専任チームを新設します。定期的な AI エージェントの評価、品質・ナレッジ鮮度管理、セキュリティ・ガバナンス管理に取り組みます。

■AI ネイティブが生む顧客価値——AI に任せた時間で、人は「動く」

ビルコムが AI ネイティブ化を進める最終目的は、顧客価値の向上です。AI エージェントが「実務や制作の時間」を担うことで、人はより多くの時間を顧客・メディア・インフルエンサー・パートナーとの関係構築へ投資できるようになります。

■外部の AI 専門家との共創で AI ネイティブ化を加速

ビルコムは自社内にとどまらず、外部の AI 専門家との共創によって AI ネイティブ化を加速します。PRAnalyzer の AI 駆動開発をリードするライトアップ社、PRAnalyzer のクローラー運用・保守を AI 駆動で効率化するエディプレックス社、統合型 PR コンサルティング事業の AI エージェント活用を外部視点でサポートする YMMD 合同会社（AI 国王）の 3 社と連携します。

▽外部の AI 専門家からのコメント

1) 株式会社ライトアップ フラクショナル CTO 岡村 匡洋 氏

「ビルコム様の『AI ネイティブ PR カンパニー宣言』に、弊社の知見を役立てられることを大変嬉しく思います。2024 年から AI 駆動開発を実践し、現在は弊社でも AI カンパニーを構築・運用してループエンジニアリングなど先進的な仕組みを取り入れて

おります。これらの実践知を活かし、ビルコム様の事業成長に全力で貢献してまいります！」

URL : <https://www.writeup.jp/>

2) エディプレックス株式会社 代表取締役 岸田 展明 氏

「ビルコム様の創業初期から多くの事業で一緒させていただいており、日頃より太田社長の PR×テクノロジーへの先進的な姿勢を間近で拝見してきました。このたび『ediplex AX』として体系化した AI 業務実装支援を、ビルコム様との新たな取り組みで実践できることに大きな意義を感じています。AI ネイティブ PR カンパニーへの進化の一端を担えるよう、全力で取り組んでまいります。」



URL : <https://ax.ediplex.com/>

3) AI 国王 YMMD 合同会社 CEO 齋藤 潤 氏

「日本初の AI ネイティブ PR カンパニー宣言をしたビルコム社の『加速装置』として、7月8月連続で AI 国王研修を開催できること、フィジカル AI 国民一同わくわくしております。『ビルコム AI-1 グランプリ』の初代王者は PR 業界の歴史にどんなプロジェクトを刻むのか!?業界関係者も大注目の熱い夏になりますね。」



URL : <https://ymmd-ai.co.jp/>

▽ビルコム株式会社 代表取締役兼 CEO 太田 滋のコメント

「データとテクノロジーで PR を進化させてきた私たちが、いま、AI ネイティブ PR カンパニーへ飛躍します。これはツールを増やすことではありません。AI の活用を前提に、会社全体を再設計することです。AI エージェントが定型業務を引き受け、人はもっと面白い仕事へ——その先に、お客様の期待を超える価値が生まれます。共感あふれる未来を、AI と共につくる。全員でその一歩を踏み出します。」



ビルコム株式会社 会社概要

社 名：ビルコム株式会社

所 在 地：東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー 11F

代 表 者：代表取締役兼 CEO 太田 滋（おおた しげる）

設 立：2003 年 10 月

資 本 金：2,000 万円

企業 URL : <https://www.bil.jp/>

加盟団体：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会、一般社団法人 日本ABC協会、日本広報学会、一般社団法人 科学技術と経済の会など



ビルコム株式会社は、「AI で、PR を進化させる。」を掲げる AI ネイティブ PR カンパニーです。統合型 PR ソリューション、クラウド型 PR 効果測定ツール「PRAnalyzer®」、広告主・媒体社をつなぐマッチングプラットフォーム「メディアデータオンライン (MDO)」を展開し、企業の広報・PR 活動を多角的に支援します。2026 年 3 月より株式会社サニーサイドアップグループに参画。PR Tech 領域の中核企業として、グループシナジーを活かしながら PR 業界の変革を推進しています。

本件の問い合わせ先

ビルコム株式会社 コーポレートブランディング部 TEL : 03-5413-2411 E-mail : cb@bil.jp